

女性のチャレンジへのワンストップ支援体制整備事業【西脇市】

地域の実情と課題

本市では、長引く不況のあおりを受け、まちの経済状況が低迷を続けている。

そのような中、起業や就労に関するセミナーや相談会等を開催すると、多数の女性の参加者があり、働くことに対する女性の関心の深さが感じられる。

女性には、子育てや介護等、ライフステージに応じて起業や就労を困難にするさまざまな状況が予想されるため、それぞれの状況や希望に沿った支援ができる体制や支援メニューの整備が必要である。

事業の特徴

起業や就労に関連する市内の機関等と市の関係課による支援連携体制を構築し、それぞれの機関等の協力を得ながら、平成27年10月に開館した複合施設内の男女共同参画センターで、就労相談や起業支援セミナー等を開催した。子育て中の母親の参加を想定し、託児の実施や室内に子どものスペースを設けるなど、子連れでの利用に配慮した。

事業の効果

各取組みの追跡調査を実施していないため、正確な効果は不明であるが、セミナー受講者からのアンケート結果や聞き取りから、大変満足度の高い内容であったことや、相談等での具体的な支援により、一步を踏み出す勇気を持てたことなどを確認している。

目的・目標

起業や就労を希望する女性に対し、それぞれの状況や希望に沿った支援を実施し、女性のエンパワーメントにより、まちが活気付くことを目指す。

連携団体

西脇市女性活躍推進事業支援連携会議

- ◇ハローワーク西脇
- ◇西脇商工会議所
- ◇専門家等
 - ・社会保険労務士
 - ・女性起業家
 - ・中小企業診断士
- ◇市関係課

今後の課題

本事業利用者が、次のステップへ進めるよう、切れ目のない取組を企画する。市の商工担当課や商工会議所等との連携の強化を図り、具体的な支援内容について協議し、実施する必要がある。

事業の概要

- ①西脇市在住の20歳以上65歳未満の女性1,000人に対し、「西脇市女性の活躍推進に関するアンケート調査」を実施。働くことに関する意識やニーズの把握を行った。
- ②起業や就労に関連する市内の機関（ハローワーク、商工会議所、市担当課）や女性起業家、社会保険労務士、中小企業診断士による連携会議を開催し、連携体制整備への協力依頼と事業に関する意見聴取を行った。
- ③アンケート調査結果及び会議での意見を参考に、本事業の実施計画を策定した。
- ④10月に開館した複合施設内の男女共同参画センターで、社会保険労務士等専門家による相談会、ハローワークによる出張就労相談会、起業支援セミナー等を開催した。セミナー時は託児も実施。相談会では、室内に子どものスペースを設けるなど、子連れでの利用に配慮した。
- ⑤支援連携会議で事業の実績を報告し、今後の課題についての意見を聴取した。

